

# 紫雲寺商工会 平成30年度 上期景況調査報告書

## 1. 調査要領

### (1) 調査対象

- ア 対象地区 紫雲寺商工会地区内小規模事業者  
イ 調査企業数 15 事業所 (うち小規模事業者数 15 事業所)  
ウ 回答企業数 15 事業所 (うち小規模事業者数 15 事業所)  
(回答率 100.0%)

### (2) 調査対象期間

平成30年1月～平成30年6月  
(調査時点 平成30年7月1日)

### (3) 調査方法

経営指導員等による巡回または窓口によるヒアリング調査

### (4) 調査対象と回答企業の構成

	調査対象		有効回答	
	企業数	構成比	企業数	構成比
製造業	2	13.3%	2	13.3%
建設業	3	20.0%	3	20.0%
卸・小売業	4	26.7%	4	26.7%
サービス業	6	40.0%	6	40.0%
合計	15	100.0%	15	100.0%

## 2. 地域内産業全体の景況概要

少子高齢化・若年層の流出により地域の市場は縮小し、受注・販売は減少傾向と依然として厳しい状況が続いている。

一方、補助金等の活用による販促活動や消費者のニーズに沿った新サービスを展開したことで、新規顧客獲得に成功し、売上が増加したといった声も寄せられた。

### 【後継者の状況】

全体の8割が「後継者あり」と回答した。しかしながら、「後継者教育までは行っていない」「どうすればいいかわからない」といった声も多かった。そのため、当会としても、事業承継に関する基礎知識やリスクについて学んでいただくセミナーの開催や専門家派遣による事業承継計画書策定支援を展開していく。

後継者 あり	12事業所	80.0%
後継者 なし	3事業所	20.0%

### 【売上高】

前年同期比・前期比ともに「売上が増加した」と回答した事業所が減少に比べ若干上回った。その理由として「小規模事業者持続化補助金を活用し、販路開拓に向けた取り組みを行ったことで、売上の増加につながった」といった声が寄せられた。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
増加	不変	減少	増加	不変	減少	増加	不変	減少
8	1	6	8	1	6	7	3	5

### 【採算】

前途【売上高】同様の理由から「採算（利益）も好転した」と回答した事業所が多かったが、原材料の価格が上がってきていることから、「悪化」してきているといった回答も多かった。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化
5	5	5	6	3	6	6	4	5

### 【仕入単価】

飲食・小売業においては「天候不順により野菜等の仕入れ価格が上昇した」、建設業においても「製造コストの上昇から建築資材が高騰してきた」とのことで、いずれの業種も仕入れ単価の上昇から利益を逼迫してきているとの回答であった。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
上昇	不変	低下	上昇	不変	低下	上昇	不変	低下
9	5	1	9	5	1	5	10	0

### 【販売（客）単価】

すべての業種において「不変」との回答が大半を占めたが、建築資材の高騰から販売価格へ転嫁したことで「上昇」と回答した事業所もあった。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
上昇	不変	低下	上昇	不変	低下	上昇	不変	低下
2	11	2	2	11	2	2	11	2

## 【資金繰り】

「不変」と回答した事業所が大半を占めた。先行きが見えない経営環境の中、新たな借入は控え、手許資金で何とかまわしている事業所が多かった。

### 前年同期比

好転	不変	悪化
3	10	2

### 前期比

好転	不変	悪化
3	10	2

### 今後の見通し

好転	不変	悪化
1	10	4

## 【雇用動向】

家族のみでの経営、従業員数の現状維持により「不変」と回答した事業所が大半を占めた。今後についても、地域の少子高齢化・若年層の流出による顧客の減少により、売上の減少が予想される中で、新規雇用による増員は難しいとの声が多かった。

### 前年同期比

増加	不変	減少
1	13	1

### 前期比

増加	不変	減少
1	13	1

### 今後の見通し

増加	不変	減少
1	13	1

## 【景況判断】

小規模事業者持続化補助金等の活用による販促活動や消費者のニーズに沿った新サービスを展開したことで、新規顧客獲得に成功し売上が増加、景況判断は「好転」と回答した事業所もあったが、少子高齢化・若年層の流出により地域の市場は縮小傾向にあり、現状維持という観点から「不変」と回答した事業所も多かった。

### 前年同期比

好転	不変	悪化
6	7	2

### 前期比

好転	不変	悪化
6	7	2

### 今後の見通し

好転	不変	悪化
5	8	2

## 【経営上の問題点】

各事業所が抱える経営上の問題点としては、総じて、人口減少・高齢化による「需要の停滞」に不安を感じている事業所が多く、次いで「従業員の高齢化からくる雇用問題」「事業承継や技能承継の困難化による経営資源の散逸」に懸念を示している事業所も多かった。

